

地域活動支援センターはなどけい

((一社)埼玉県身障者問題をすすめる会)



1 施設の概要

定 員	地域活動支援センター14人
所 在 地	さいたま市緑区 三室2467-25 https://goo.gl/1tJEao 
アクセス	東武バス 北浦和駅より さいたま市立病院行きバス乗車 終点さいたま市立病院下車徒歩3分
連絡先	TEL: 048-789-6587 FAX: 048-789-6587
開設日	平成13年6月
開所日時	火曜日～土曜日 10時～18時
平均年齢	平均: 68歳 最年少: 29歳

	最年長: 91歳
送 迎	概ね施設から7km程度内(緑区・浦和区・南区・見沼区)
食事提供	有り (1食あたり400円の負担あり)
入 浴	有り(全介助800円 一部介助500円)
車 い す	受入可
医療的ケア	なし
その他設備	エレベーター なし(一階部分のみ使用) ユニバーサルシート (大人用ベッド) なし

2 施設の運営方針・理念



はなどけいは、障害を持ってしまっても、生まれ育った街で、当たり前で暮らしたい、そういう方達を支える団体が運営している施設です。

通ってきている方は、主に身体に障がいをお持ちの方たちで、リフト付きの車イス対応車両で送迎をおこなっています。

施設内で手作りした昼食を食べて、午後は主に編み物や内職など、手先を使った作業をしています。

働くときには一生懸命がんだり、遊ぶ時にはしっかり遊ぶ、それがモットーです。

小さな施設ではありますが、その分、かゆいところに手が届くような、そんなケアをめざして、職員一同がんばっています。

3 事業内容の紹介

はなどけいは、小さくてアットホームな施設です。現在は地域活動支援センターという枠組みの中、活動を行っています。

活動内容は、就労継続支援施設と生活介護施設の中間といったところで、食事介助や入浴介助などを行うかわら、手芸品の作成や内職など、授産活動も行っていきます。

朝は、のんびり目のスタートです。リフト付きの車両でご自宅までお迎えにうかがいます。

はなどけいに着いたら昼食です。施設内で手作りしている昼食は、家庭的でおいしいと評判です。できたて熱々のごはんをみなさんと食べると、いっそうおいしいです。

午後は、作業活動の時間です。みなさん熱心に取ります。作業以外にも、季節ごとに行事をおこなったり、時に、お買い物に出かけたりもします。

そして帰りは、また車でご自宅までお送りします。

活動は主に手芸品の作成と、内職とを行っています。手芸は、マフラーや巾着などの編み物や、靴下廃材を利用した指編み製品などを作り、バザーなどで販売を行います。内職は、現在はボールペン作りを行っています。

手芸品の販売収益、内職の工賃は、授産工賃として配分しています。(工賃は出席日数で計算しています。現在は1口あたり100円程度です)

車両による送迎を行っているため、安心して通所することができます。また希望者には入浴サービスもあります。



1日の流れ

10:00	12:00	13:00	15:00	16:00
登所 リフトカー で迎えに 行きます。	昼食	作業活動 手芸・内職など	休憩	作業活動 帰宅

4 事業の紹介写真



何種類かの内職作業を行っています。
その時その時で多少作業内容が異なりますが、それぞれのみなさんが得意な部分を受け持ってもらって、みんなで作業します。



こちらは靴下廃材を使ったマット作り。まずは色を分けて、ごみを取って編みやすい状態に整理します。この作業が一番大変です。



模様や色合いを考えて指で編んでいきます。



完成品の数々。バザーで販売します。



こちらは編み物。カギ針や棒針でも編みますが、難しい方は道具を使って編んでいきます。



出来上がるのは、マフラー。かわいい編みぐるみをつけて、できあがり。



他にも、アクリルタワシやペットボトル入れなど編んでいます。また可愛いマスコットなども作っています。

5 施設の年間の行事



行事名：遠足

時期：年一回

場所：みなさんで行きたい場所を決めます。令和4年は「サイボク」へ行ってきました。

内容：観て、体験して、食べて、買う。全力で楽しみます。



行事名：いちご狩り

時期：春

場所：南彩グリーンセンター

内容：春頃の恒例行事となりました。水耕栽培なので、車イスでも自分で採れます。食べ過ぎ注意です。また、隣接している農協でのお買い物も大人気です。

行事名：クリスマス会

時期：12月

場所：はなどけい



内容：ミニゲームをしたり、ボランティアさんの隠し芸の披露があったりと、毎年にごやかに行います。もちろん、おいしい食べ物も出ます。大人の施設なので、ちょっぴり大人の飲み物もでる・・・かもしれません。

行事名：障害者祭り

時期：秋

場所：障害者交流センター



内容：毎年、いろいろな場所のバザーやお祭りに参加します。特に、障害者祭りには、出店者として参加し、手作り品などを販売しています。自分の作ったものが目の前で売れると、かなり嬉しいものです。(現在感染症対策の為、参加休止中です)

6 施設の自慢・特色



昼食は、施設内で手作りしています。おでんにカレー、コロッケや煮物など、バラエティ豊かです。リクエストもできるかも。

刻み、とろみ、アレルギーなど、対応可能です。



地域活動支援センターとしては珍しく、入浴設備があります。つかまり立ちができる方であれば、入浴可能です（有料）



送迎は、リフト付きの車両で行っているのので、車イスの方でも安心して通所できます。（送迎無料）



さいたま市立病院が目の前なので、何かの時に安心です。



七夕は、なぜか「手作りおやつの日」ホットケーキを作って食べました。



回転寿司へ行きました。食べ過ぎ注意です！

障害者団体が運営しているので、親身になって相談にのります。

小さな施設だからこそ、とってもアットホームです。よく、「ここに来ると落ち着いて眠くなる」なんて言われます。

お買い物に行きたい、などの要望にも応えることが出来るのが、小さな施設のいいところではないでしょうか。しまむらやユニクロ、ドン・キホーテなどに行くことがあります。

7 法人が運営しているその他の施設

(一社)埼玉県身障者問題をすすめる会

サポートセンター麦・	
所在地	浦和区
施設類型・ 定員数等	ケアプラン作成等